

平成30年度 第3回 エルシーブイ放送番組審議会 議事録

■開催日時 平成30年12月21日(金) 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社1階会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員 (5名)

市川 純章 委員

河西 滋子 委員

杉本 研一 委員

井上 淳哉 委員

菊池 大介 委員

放送事業者側 (8名)

吉澤 君弘 代表取締役社長

吉野 祐輔 取締役常務

佐久 章展 放送制作部長

柳原 正 放送制作部 制作課長

吉田 和晃 放送制作部 報道課長

八幡 聡 放送制作部 企画広告課長

國枝 翔馬 放送制作部 制作課

原田 久美子 事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 「フォトマッチ チームチャンピオンズカップ2018 NAGANO」

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・フォトマッチとは何かわからなかったが、番組を見てどういうものかわかった。
- ・個人的にも興味があった。興味のある人には最後まで飽きずに見られると思った。
- ・せっかく茅野市で開催されているのに、写真家に対して、長野県の風景の印象や他のどこが撮影にいいのかなどのインタビューがなかった。企画の宣伝番組になっているのが残念だった。
- ・特集なのかニュース的にイベントを伝えるだけなのか、番組の属性がわからなかった。
- ・番組の内容として地域の魅力を伝える努力はどこにあるのか不明。
- ・コミュニティー放送として、番組にする必要はあったのか疑問。LCVではなくよその企画、茅野市は映り込んでいるだけ、そして後半の画面のレイアウトが大会の演出となっていて、報道ではなく主催者側の番組となっている。なぜLCVで取り上げたのかわからない。28分かけて何を伝えたかったのか。
- ・この番組を審議会に出した意図がまったくわからない。他に番組がなかったための対応なのか。

□指摘・要望

- ・チームワークがどう競技に生きているのかわからなかった。もうちょっと取り上げてほしかった。
- ・観客へのインタビューや写真の解説がないので、審査員の着眼点や撮影状況がわからず、置いて行かれている感じがした。
- ・宣伝としては一定基準をクリアしているが、番組としてはもう一步踏み込んでほしかった。
- ・ノーカットでやるなら有意義だが、この番組では意義がない。

□審議番組の選定・説明について

- ・本来、自主企画制作番組を審議対象とするべきだが、今回の番組は趣旨も意図も全く違うものになっている。
- ・番組説明を聞くと、自主企画制作を基本とするコミュニティー放送の番組ではなく、イベント主催者から料金をいただいて制作した営利的番組をあたかも目的を持った企画番組であるかのような制作意図で説明しているため、番組内容と大きく乖離している。
- ・営業目的でスポンサーありきの番組であるならば、その旨を最初から明確な理由とした番組説明をした上で審議しないと今回のように双方の観点が合わないままの議論となり意味がない。
- ・LCVの番組審議会に対してこのような形で審議番組を提示したことは過去に例がなく、地域コミュニティーとして必要な番組制作の意識低下と危機感を感じる。考えを正すべき。

□その他

- ・自主制作番組が最近減っているように感じる。
- ・視聴者は他社制作ではなくLCVらしい番組を期待していると思う。

- 製造業やお店を紹介する番組がなくなり、地域情報の頼みはニュースしかない状態で、自主放送について危惧している。
- NETでの動画配信をスマホやタブレットで見られるようにしてほしい。
- ホームページのデザインが悪い。LCV-Net会員メリットがより分かりやすいレイアウトが必要。
- LCV番組ガイドがなくなり、コミチャンの番組内容と放送時間がわかりにくくなった。